

めぐみ

2024年
4月号

学校法人 聖公会北関東学園
認定こども園
初雁幼稚園
〒350-0057 川越市大手町 8-5
Tel 222-5385 Fax 228-5010

6年ぶりの着信

園長 山本由香里

3月下旬の夕方のこと、久しぶりの名前から着信が入りました。4月に大学生になった息子の友人で、小学6年生の卒業旅行でディズニーランドに子どもだけで行った時の仲間でした。その子は早くから携帯電話を持っていて、帰りに迎えに行った時に連絡がとれるようにと番号を交換したのです。「ゆうきくん（息子）いますか。久しぶりに今からみんなで会いに行きます」とのこと。みんなとは…と聞くと、その時、卒業旅行の仲間数人で家まで来てくれるそうです。息子はその時、美容院に行っていて留守でした。息子が電話に出ないので、私にかけたとのこと。あまりに急でびっくりしましたが、それ以上にあの時のメンバーにまた会えるのが嬉しくて、私はうきうきして、反対に息子は面倒くさがりながら待っていました。

小学校から中学校卒業までの学童卒業後7年間、息子の友人10人ほどで毎日のようにわが家に来てはリビングに居座り、買い食いにゲームにトランプに最後は決まって鬼ごっこをして6時過ぎまで遊んでいました。日中に大人が家にいないので、過ごし易かったのでしょう。帰宅するとゴミの山だったり、扉が壊れていたり、鬼ごっこでは屋根にのぼることもありハラハラすることもありました。縄跳びが飛べない息子にリビングで縄跳びを教えてくれて、床がきしむようになりました。よく学校からもお叱りのお電話をいただきましたが、仲良くみんな一緒でした。正直、悪ガキども…けれど、気持ちはいい子たちでした。高校に入ると、息子の携帯が壊れ、それを機に連絡をとらなくなり、卒業まで会わなくなってしまったようです。中学校からの6年間、それぞれに大きな試練と向き合うことができました。6年ぶりの電話口の声はそれらを乗り越え、大きく成長しているように感じました。

慌ててリビングと息子の部屋を片付け、以前のように中にあるかと楽しみに待っていたのですが、チャイムが鳴ると息子は外に出ていき、立ち話に。次男と交流のあった友人が一人だけ玄関まで来てくれ、次男に高校進学後のアドバイスをしてくれました。「せっかくだからライン交換しておいたら」と私が次男に提案すると、「由香里さん、ライン交換してくれますか!」との言葉。一瞬、思考が停止しましたが…素直に嬉しかったです。その後、息子と友人らは吉野家に夕食を食べに出かけていきました。

吉野家に行ってしまった後に、6年ぶりの着信の彼に、きちんと挨拶できず申し訳なかったことと、来てくれて嬉しかったことをラインしました。すると、食事中だろうにすぐに返信をくれました。「こちらこそ急に押しかけるような形になっちゃってすみません!久々にゆうき会えて嬉しかったです!」と。そういえば、この子とは6年生の頃、学校の備品を持ち出してなぜか道路に落とし（捨て?）、呼び出されて校長室で叱られたなあ…。

自分の子どもは2人しかいませんが、2人の子どもを通じてできた息子の友人たちは、同じようにかわいくて、憎らしくて、いつまでも心に残る存在です。息子たちだけではできなかったような経験を、良くも悪くもさせてもらいました。どの子も大きく成長して置いてけぼりになったおばさんですが、この子たちの存在が息子たちを、そして自分も成長させてくれたのだと感謝の思いでいっぱいです。

今月の保育目標と予定

☆保育目標☆

今月のテーマ
「よろしくね」

今月のねがい

- 新しい出会いの中で、安心して過ごす
- 入園、進級した喜びを大切にする
- お祈りを通して神様と出会う

学年別のねがい

- (1・2歳) 自分が受け入れられていることを感じる
- (満3歳) 保育者に親しむ
- (年少組) 幼稚園や保育者に親しむ
- (年中組) 園生活を楽しみにする
- (年長組) 進級を喜び、進んで行動しようとする

ひとこと

入園進級おめでとうございます。

ドキドキ、ワクワク、いろいろな思いをそれぞれの胸に、2024年度がスタートしました。神様が用意してくださった新しい出会いの中で、子どもも大人も安心して自分らしくいられる一年となりますように。よろしくお願いたします。

今月の聖歌 「こころをあわせ」



思います。どうぞよろしくお願いたします。

★予定★

日	曜	行事などの予定
6	土	第124回入園式 職員研修
7	日	
8	月	始業式・進級式 短縮保育
9	火	
10	水	尿検査提出
11	木	アルミ缶回収
12	金	↓
13	土	就労家庭保育実施日
14	日	
15	月	懇談・交流会 (年長)
16	火	懇談・交流会 (年中)
17	水	懇談・交流会 (年少)
18	木	
19	金	全体礼拝
20	土	就労家庭保育実施日
21	日	教会学校春の遠足
22	月	
23	火	
24	水	4月生まれ誕生会 聖書研究①
25	木	
26	金	全体礼拝
27	土	就労家庭保育実施日
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	

保育目標について

初雁幼稚園の教育課程では、1～2歳児の乳児部と3歳以上の幼児部に分け、各月保育目標を立てて保育を行っています。月のテーマ、月のねがいとともに子どもたちの姿についてひとこと添えます。今月の聖歌は毎月1曲ふさわしい聖歌を選び、礼拝の時に幼児部で歌います。幼児部の方には聖歌の楽譜を配布しますので、ご家庭でも歌ってみてください。

わが家のまど



「わが家の窓」では、お子さんにまつわるエピソードだけでなく、お家の方の趣味や意外なところ、休日の過ごし方などわが家に関することなら何でもご紹介していただいています。書き手も小学生以上から祖父母までどなたでも構いません。年長すみれ組の家族の方に500字以内の原稿と挿絵を依頼いたします。よろしくお願いいたします！

(309) 一步一步の積み重ね

つくし・もも組担当 教諭 伊藤 愛莉

わが家には一匹の犬がいます。男の子で名前はエルモ。年齢は推定 12 才！4年前に私の実家で保護犬を迎え入れることになり詳細が分からないため年齢はおおよそです。保護犬にしたのは元々興味があり調べていく中で保護犬の実態やそれぞれが抱えた悲しい過去を知っていく度に正義感に駆られたわが家は早速施設探しへ。当時は今ほど保護犬、保護猫が浸透していなかったので場所を探すのに一苦労。順調に進んでいくもその後の審査は慎重かつ厳重。ようやくご縁があってエルモを迎えることになりましたが、やはり保護犬という背景があるのですべてがスムーズではありませんでした。保護前は家の中、かつ狭いゲージの中でしか過ごしてこなかったため外の世界を知らず散歩への警戒心 MAX。車の音、犬や猫の匂いに興味を示すどころか恐怖に怯えていました。本来ならば走って喜ぶ公園も一歩も歩けず結局すぐ帰宅。毎日少しずつ無理なく散歩を続けた結果ここ数年でやっと歩く距離が伸び、視覚や嗅覚を使って散歩を楽しんでいる姿が見られるようになりました。昔は考えられなかったけれど今では公園一周もできるんですよ！自己満足かもしれないけれど我が家に来たことで培った小さな経験や日々の関わりがこのような成長の姿につながっているということがすごく嬉しいです。それと同時に保護犬、保護猫というワードが最近耳にする機会が増え関心が深まったこともまた嬉しく思います♪



今月の聖書のおはなし



毎週金曜日は、幼児部は松江町にある川越キリスト教会にて全体礼拝を行います。すみれ組になると、鐘をならしたり、ろうそくの火を灯したり、献金をお捧げする礼拝当番が回ってきます。全体礼拝では、教職員が聖書のお話を素話で伝えていきます。今年度は新約聖書を中心にお話します。子どもたちが慣れてきた6月以降より、保護者の方も全体礼拝に自由に参加できます。その際には聖歌ファイルをご持参ください。

☆ 4月19日 「主の祈りの話」

マタイによる福音書6:5~15

主の祈りは、イエス様が教えてくださった大切なお祈りです。幼稚園でお祈りする時には、主の祈りを唱えます。主の祈りには「私たちの罪をお許してください、私たちも人を許します」と祈ります。許し、許される経験は幼稚園の生活の中でもたくさんあります。そんな大切な主の祈りについて、子どもたちにお話をします。

☆ 4月26日 「あなたの敵を愛しなさい」

マタイによる福音書5:38~48

聖書には、「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」と書いてあります。毎日の生活の中で、意見がぶつかったり、けんかをしてしまう相手もいるかと思います。そんな時に、あなたの敵を愛するとはどういうことなのか、子どもたちにお話をします。 (大野 梨紗)